

エルマー50mmF3.5 の純正フードは単なるブリキの筒ですが、何でこんなものかと思うくらいの値段で取引されています。ズマロン 35mmF3.5 用のフードはエルマー50mmF3.5 と兼用で使えます。このフードは国産メーカーから普通の価格で販売されています。Ernst Leitz Wetzlar の刻印があるかないかの違いです。だから撮影にはこれで十分です。ただ、かぶせ型ですから落として紛失しないように注意しましょう。

ズミクロン 50mmF2 のフードはいろんな形のものがあります。美品だとレンズが一本買えるくらい高いものもあります。国産品があるかどうかは不明ですが、ドイツ製でも数が多いので手の届かない値段ではないものもあります。その他、当時は各レンズ専用のフードも発売されていました。例えばズマール、ズミタールやズマリットの角型フードはコレクションアイテムにもなっていて高価に取引されています。

エルマー50mmF3.5 はいいレンズですがひとつだけ欠点があります。それはフードをつけると絞りが変更できなくなることです。女性の細い指だと可能かもしれませんが、絞りの値を変えるのにいちいちフードを外さなければなりません。昔エルマーはカメラから外して引伸レンズとしても使われたらしく、暗室内で絞りの操作をやすくするためのフードがあります。このフードを使うと外周のリングを回して絞りの調節が可能です。撮影用にも使うことができます。具合のいいことに、古い大陸絞りの系列（絞りが 3.5、4.5、6.3、9、...）でも、リングの目盛りは現代型（3.5、4、5.6、8、11 系列）になっているため、絞りのセットに迷うことはありません。見つけたら買って置くといいでしょう。



エルマー用引伸用フードと万能フード

エルマーレンズ用の万能フードというのがあります。一連のエルマーレンズ 50mm、90mm と 135mm に共用で使えるフードです。調節は使用レンズに応じて外周に刻まれた焦点距離目盛りまで押しこんでネジで固定します。3本のレンズに一個のフードで対応できるのが特徴です。

フィルター

現在ではフィルターは特殊な撮影をしない限りレンズ保護が主な目的になっています。従って、UV や Skylight フィルターに人気が集まっています。エルマー50mm には 19 ミリという特殊な径のフィルターが必要です。国産メーカーから 19 ミリの Skylight フィルターが販売されています。その他のレンズは 39 ミリ径のフィルターで間に合うレンズが殆どです。やはり国産のものが安くいいでしょう。ライカのレンズは白鏡胴が多いので、国産でも白のフィルターが販売されています。



19mm Skylight、39mm UV、39mm UV かぶせ Filter